

◆大人の自然観察会

春の昆虫やスミレなどの野草に注目して観察します。これから自然を楽しみたい初心者向けの内容になります。

日時：4月10日(日) 9:30~12:00
対象：中学生以上
定員：20名(先着順)
参加費：100円(保険代)
要申込：3月10日より受付開始

◆親子はじめての自然観察

親子向けの自然観察会です。春の水辺や雑木林で活動しはじめて生きものを、間近に楽しく観察しましょう。

日時：5月5日(木祝) 9:30~12:00
対象：小学生と保護者
定員：20名(先着順)
参加費：100円(保険代)
要申込：4月5日より受付開始

NEW!!

◆新緑のみどり森でフォト&ピクニック

木々の緑が輝く初夏のみどり森をカメラ片手に散策しませんか? 歩き疲れたら一休み木陰でティータイムも楽しみましょう♪

日時：5月21日(土) 10:00~15:00
対象：20~40歳代
定員：20名(先着順)
参加費：1000円(保険代、材料費)
要申込：4月21日より受付開始

◆食育体験教室 田んぼでお米を作ろう!

田起こしから稲刈り・脱穀まで、米作りの大変さや楽しさ、食の大切さに気付く全7回の体験教室です。自分たちで作ったお米もお持ち帰りできます。

日時：5/8、5/22、6/26、7/31、9/4、10/2、10/23
いずれも日曜、各回10:00~15:00
対象：小学生以上
※全7回参加可能な方、小学生は保護者と参加
定員：50名(先着順)
参加費：4500円(保険代、材料費)
要申込：4月1日より受付開始

◆みどり森 里山ようちえん

幼児期に親子で里山の自然との触れ合い、野外で遊ぶことを目的とした、自然体験型の森のようちえんです。

【カエル組】
日時：①5月14日(土) ②6月12日(日)
各10:00~13:30
対象：2016年4月1日の時点で満4~5歳の未就学児と保護者
定員：各20名(先着順)
参加費：親子2名で1000円(1人追加ごとに500円)
要申込：①4月14日 ②5月12日より受付開始

【オタマ組】
日時：①5月18日(水) ②6月8日(水)
各10:00~13:30
対象：2016年4月1日の時点で満2~3歳の未就学児と保護者
定員：各20名(先着順)
参加費：親子2名で1000円(1人追加ごとに500円)
要申込：①4月18日 ②5月8日より受付開始

◆里山体験教室 下草刈りをしよう!

昔からの雑木林の手入れのひとつ、下草刈りを体験します。自然の中で体を動かし、心も体もリフレッシュ。
日時：6月11日(土) 10:00~12:30
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：20名(先着順)
参加費：100円(保険代)
要申込：5月11日より受付開始

◆ボランティア養成講座(全3回)

みどり森でボランティア活動を希望する方のための講座です。当館施設概要や里山の管理方法などの座学やフィールドワークを行います。ボランティア登録にはこの講座への参加が必須条件です。

日時：5/28(土)、6/19(日)、7/10(日)
各回10:00~15:00
対象：中学生以上 ※全3回参加可能な方
定員：20名(先着順)
参加費：300円(保険代、材料費)
要申込：4月28日より受付開始

★ガイドウォーク実施中! 詳しくはHPをご覧ください!

博物館からのお知らせ

■みなさまとみどり森の自然がつながりますように■

私たち(株)自然教育研究センターは、平成23年度(2011年4月)より指定管理者として、さいたま緑の森博物館の管理運営を行ってまいりましたが、この度再任され、平成33年3月31日まで引き続き管理運営していくこととなりました。

この5年間、多くの方々のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

今後、さらに多くの方にとってみどり森の自然が身近でかけがえのない場所となるよう、運営の充実を図りたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

(さいたま緑の森博物館スタッフ一同)

◆アクセス◆

★公共交通機関をご利用の場合★
小手指駅南口より西武バス
「宮寺西」または「金子駅入口」 行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

★案内所までの地図★
右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)



★ご来館時のお願い★
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。

開館時間 9:00~17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
【公式HP】 <http://saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

発行:さいたま緑の森博物館
発行年月:2016年4月
住所:〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX:04-2934-4396

今年もみどり森に春がやってきました

スミレをはじめとする小さな野の花が開花し、池の中ではオタマジャクシが泳いでいたり、春の訪れを感じる季節となりました。

気持ちの良い春の森を散策すると、いろいろな「春」を見つけられるかも? あたたかな陽射しが気持ち良い、春の森をお楽しみください。

只今、展示室では、埼玉県立川の博物館とのコラボ展示【狭山丘陵の両生類たち】を開催しています(5月8日まで)。お越しの際はぜひ見てみてくださいね。きっと新たな発見がありますよ。

今号のニュースレターは・・・

「みどり森のカエルたち」がテーマです。この季節になると池や森で見かけるカエルたち。みどり森にはどんなカエルがいるのかご紹介します。

カエルの声がしたら、ニュースレターを見ながらそっと耳をすませてみてくださいね。



みどり森 里山広辞苑

緑の森博物館がテーマとしている雑木林や湿地・文化などについて、毎号キーワードを挙げて紹介しています。今回は『里山の恵み〜春〜』です。

その16 里山の恵み〜春〜

案内所に来館される方とお話していると、「こどものころ〇〇を食べたことがあるよ。」など、里山で得ることが出来る食べ物の話を聞くことがあります。だれにとっても、里山が身近だったことが感じられます。

【春の七草】
春の七草のうち、セリ、ナズナ、ごぎょう(ハコグサ)、はこべら(ハコベ)、ほとけのざ(タバコ)は野草で、田畑の周りに生えています。

【春の野草】
春は野草・山菜の季節で、つくし(スギナ)、タラノメ、ゼンマイ、アケビ、ヤブカンゾウ、ノビルなどを昔はとっていたそうです。

【アカガエル】
田んぼや湿地に生息するアカガエルも、昔はよく食べられていました。小学生のころ、湿地や雑木林でカエルを探して家に持って帰った、などのお話も良く聞きます。

みどり森からのお願い・・・
みどり森の敷地内では採取禁止のお願いをしています。昔は、入会地や自分の土地で、決まりを守りながら里山の恵みをいただいていた。現在のみどり森には、個人の私有地や借地、埼玉県の土地もあります。来館する皆様一人一人が自然を楽しめるように、採取はご遠慮下さい。

みどり森にくらすカエルたち

早春から産卵し、卵やオタマジャクシをよく見かけるカエルたち。今号のニュースレターでは、そんなみどり森のカエルたちについてご紹介します。

みどり森にはどんなカエルがくらしている？

今回は、みどり森でよく見かけるカエルたちをご紹介します。家の周りで見かけるカエルと一緒に？ それとも違う？ 比べてみるのも楽しいかもしれません。

キュルルル キュルルル



ヤマアカガエル

まだまだ寒い2月頃、ニホンアカガエルと共に天敵が少ない時を狙って卵を産み、産卵が終わると再び休眠します。また5月ごろになると森の中でピョンピョンはねる親のアカガエルと、池の中で泳ぐオタマジャクシを目にすることが出来ます。

クッククッククック



ニホンアカガエル

ヤマアカガエルと体つき、活動の時期ともに似ていますが、背中にある二本の線が繋がっているのが特徴。みどり森では、大谷戸湿地、西久保湿地で多く卵が見られます。成長したオタマジャクシの背中には、黒い2つの点が出てくるのが特徴です。

ケレレレケレレレ



シュレーゲルアオガエル

ケレレレケレレレ...とみどり森で一番長い期間鳴き声を聞くことが出来るシュレーゲルアオガエル。田起こしをしていると、あぜのくぼみに隠れているのを、見かけることもあります。5月ごろにあぜを掘り、泡に包まれた卵を産みます。

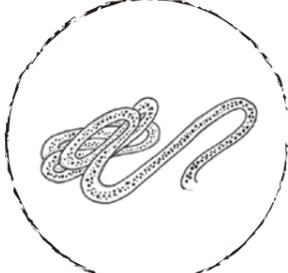
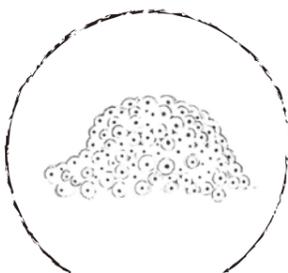
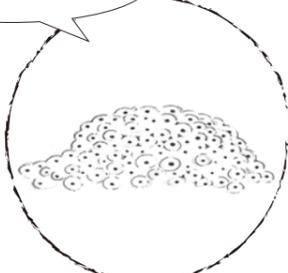
コッコッコッコ



アズマヒキガエル

でこぼこの背中が特徴で、ガマガエルともよばれます。繁殖期になると、水辺を目指して森の中を歩いています。上陸したばかりの子ガエルは、地表に住むトビムシなどを食べるため、森の中で暮らしています。

こんな卵を産むよ！



みどり森カエルマップ

みどり森のさまざまな場所で暮らしているカエル。スタッフが比較的によく見かける場所をマップにしました。足元をゆっくり探して見てくださいね。

② 大谷戸湿地

時期：2月～5月ごろ

大谷戸湿地では、冬眠から目覚めたカエルのオスたちが、メスを求めて鳴き始めます。どんな声が聞こえてくるかな？ 立ち止まってそっと声を聞いてみてくださいね。

① 水鳥の池

時期：3月～4月ごろ

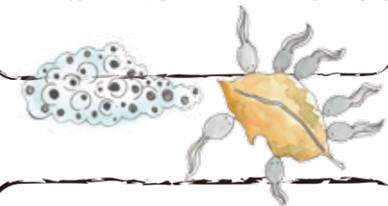
水鳥の池では、様々な種類のカエルが産卵します。中でも、3月中旬、アズマヒキガエルのカエル合戦は見もの。メスをめぐって、オスが団子状に重なっていることも。見られるのは短い期間なので、見られたらラッキー！

★水鳥の池は柵の中には入れません

③ トンボの湿地

時期：2月～6月ごろ

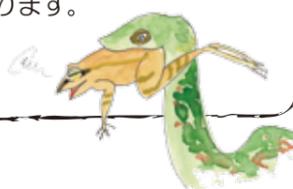
水面をのぞくと卵が見られる場所。暖かくなってくると孵化したオタマジャクシがいっぱい。落ち葉などを食べている様子を見ることができます。



④ 西の斜面

時期：5月～11月ごろ

森の中では上陸したカエルたちが食べ物を探して移動中。湿地側の常緑樹の多い場所では、アカガエルやヒキガエルがいることも。おまけにそれらを狙うヘビがニョロニョロしていることもあります。



⑤ 展望広場

時期：5月～11月ごろ

展望広場の森側には、落ち葉や枝がたくさん落ちています。その落ち葉に混ざって、アカガエルの仲間が見られます。良く目をこらすとヒキガエルの子ガエルがいることも。

観察時のおねがい

- ★観察した後は、いた所へにがそう。
- ★他の場所からカエルを持ちこまないようにしましょう。
- ★カエルをさわるときは手をぬらしてからさわろう。
- ★園路外には立ち入らないで観察しよう。

・声が聞こえる!カエルハンドブック 文一総合出版
 ・オタマジャクシハンドブック 文一総合出版
 ・山溪ハンディ図鑑9日本のカエル 山と溪谷社
 ・外来種ハンドブック 地人書館

カエルに忍び寄る脅威

カエルの声のする近くに、五本指の小さな足跡を目にすることがあります。それはアライグマの足跡。捨てられたアライグマが野生化し、カエル等の生きものを食べてしまうことが問題になっています。

ウシガエルも、小型のカエルや、オタマジャクシを食べてしまうためカエルにとって脅威となっています。

アライグマ、ウシガエル共に特定外来生物に指定されており、他の場所への移動、無許可の飼育は法律で禁止されています。

